

## 1 取組項目の見直し

将来像ごとに対してそれぞれ取組項目を設定しているが、既に目標を達成しているものや5年後に向けての取組が見えにくいものがあることから、現状に合わせて見直しを行う。

### 取組項目（現行）

#### ◆テーマ：川本来の生態系を取り戻す

- 1 多自然川づくりの実施
- 2 水生生物や水生植物の生息調査の実施
- 3 川に棲む動植物の繁殖対策

#### ◆テーマ：美しい景観を保全する

- 1 「仁淀川一斉清掃の日」の**制定**
- 2 仁淀川へ遊びにくる人へのマナーアップ運動の啓発・広報
- 3 仁淀川における水辺の環境保全活動の普及促進
- 4 水辺林の適正な整備の推進**

### 検討中の取組項目

#### ◆テーマ：川本来の生態系を取り戻す

- 1 多自然川づくりの実施
- 2 水生生物や水生植物の生息調査の実施
- 3 川に棲む動植物の繁殖対策
- 4 水辺林の適正な整備の推進**

#### ◆テーマ：美しい景観を保全する

- 1 「仁淀川一斉清掃の日」の**啓発・仕組みづくり**
- 2 仁淀川へ遊びにくる人へのマナーアップ運動の啓発・広報
- 3 仁淀川における水辺の環境保全活動の普及促進
- 4 上下流の連続**



## 2 コラム形式での取組等の紹介

仁淀川の現状や流域団体の取組等をわかりやすく伝えられるようコラム形式で紹介する。

各テーマごとに1、2程度、以下の内容をコラム形式で紹介する。

- ・ 仁淀川で行われている取組
- ・ 仁淀川の現状の課題
- ・ 他河川での先行事例

### 【現在検討中の内容】

#### テーマ：子どもたちを川へ呼び戻す

- 3 安全・安心で楽しい水辺活動の推進 … 「川の安全教室in仁淀川」の取組

#### テーマ：水文化を継承する

- 1 流域の水文化に親しむ機会の拡大 … 鎌田井筋をテーマにした小学校への出前授業（土佐市）
- 3 仁淀川にまつわる民話や伝説の収集 … 農作業での濁水を川に流さないようにする伝承（いの町）

#### テーマ：川本来の生態系を取り戻す

- 2 水生生物や水生植物の生息調査の実施 … 水生昆虫による水質判定方法
- 3 川に棲む動植物の繁殖対策 … 外来種の移入状況？ 駆除の取組？

#### テーマ：美しい景観を保全する

- 1 「仁淀川一斉清掃の日」の啓発・仕組みづくり … スポゴミの紹介
- 2 仁淀川へ遊びに来る人へのマナーアップ運動の啓発・広報 … 波川公園のレジャーゴミの現状（いの町）

#### テーマ：豊かな水量を確保・維持する

- 1 健全な森づくりによる山の保水力の回復 … 黒森山植樹（越知町）

#### テーマ：排水・汚水処理対策を進める

無

# 仁淀川清流保全計画改訂について

## 3 重点項目及び5年後の目標の設定

取組項目のうち、重点的に取組んでいこうとする項目は、5年後の目標を設定するとともに成果の把握方法を定める。

### 【検討イメージ】

5年後、どうなっていたいか？ **＝** ゴール イメージの共有

→ 目標値：次期計画から導入し、達成度を測定

進行管理を行い、毎年全体会で報告

そのために何をするか？ **＝** いつ？ 誰が？ どのように？

### 実行計画

### 実行計画（イメージ）

テーマ	子どもたちを川へ呼び戻す	目的	仁淀川をフィールドとした環境学習・体験活動等の実施者、またはこれから実施しようとしている方に対し、安全対策・安全管理の基本的な考え方と技術が学べる講座を実施し、川の特性を理解し、川での活動における危機管理能力を身につけた人材を育成する。					目標 (平成36年度)	RACインストラクター、RACリーダーの指導による子ども対象の安全教室、環境学習等が実施できる体制を整える。
事業名	RAC川の安全教室in仁淀川		取組項目	<input type="checkbox"/> 親子で川にふれ合う行事の充実、広報 <input type="checkbox"/> 子どもたちの水生生物・水生植物の生息調査や水質調査への参加機会の拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 安全・安心で楽しい水辺活動の推進 <input type="checkbox"/> 学校での環境学習の実施					
取組内容	取組スケジュール					アウトプット（想定）			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
指導者育成講座	リーダー講座（1回）	インストラクター養成講座（1/2・1回）	インストラクター養成講座（2/2・1回）			RACインストラクター：2名、RACリーダー：12名			
子ども水辺安全講座	1校	1校	1校	2校	2校	実施校：7校、受講した子どもの人数：210名			
仁淀川流域向け入門編の実施	講座の実施（2回）	講座の実施（4回）	講座の実施（4回）	講座の実施（6回）	講座の実施（6回）	実施回数：22回、受講者数：330名			
流域のイベント等への支援（OJT）	4回	4回	6回	6回	8回	派遣回数：32回			
協議の場・Facebookグループによる情報共有						-			

計画本文に 具体的な取組 として盛り込む

→ 現行の取組は「取組の方向」を示したもので、行動につながりにくいため、整理する

#### 現 行

#### 【取組】

- 3 安全・安心で快適な水辺空間の整備
- 川遊びにおける危険箇所についての現場の表示や、危険箇所マップの作成・配布などの情報提供を行います。

#### 改正（案）

#### 【取組の方向】

- 3 安全・安心で楽しい水辺活動の推進
- 川遊びにおける危険箇所についての現場の表示や、危険箇所マップの作成・配布などの情報提供を行います。また、仁淀川流域をフィールドとした環境学習・体験活動を安全に実施できる人材を育成するとともに、子どもたちに水辺の安全について学ぶ機会を提供します。

#### 【具体的な取組】

- ・ 指導者育成講座の実施  
R6 目標値 RACインストラクター：2名、RACリーダー：12名
- ・ 子ども水辺安全講座の実施  
R6 目標値 実施校：のべ7校、受講した子どもの人数：210名
- ・ 仁淀川流域向け入門編の実施  
R6 目標値 実施回数：22回、受講者数：330名
- ・ 流域のイベント等への支援  
R6 目標値 派遣回数：32回

## テーマ：子どもたちを川へ呼び戻す

- 1 親子で川にふれあう行事の充実・広報活動
  - 仁淀ブルーサポーター制度：仁淀川清流保全推進協議会が主催・共催する事業及び趣旨に賛同したイベントの情報発信とリピーターの創出を目的とした仕組みづくりの検討を行う。
  - 想定される目標：仕組みの確立、仁淀ブルーサポーター登録者数
  
- 3 安全・安心で楽しい水辺活動の推進
  - 川の安全教室in仁淀川：川の特性を理解し、川での活動における危機管理能力を身につけた人材の育成及び育成した人材の指導による子どもを対象とした安全教室、環境学習等が実施できる体制を整える。
  - 想定される目標：省略
  
- 4 学校での環境学習の実施
  - ・「仁淀川学習」プログラム開発：仁淀川について学べるプログラムを作成。
  - 想定される目標：プログラム数及び実施回数
  - ・調べ学習ハンドブック：仁淀川について学べる講座及び講師の情報収集を行い、学校へ提供するとともに実施への支援を行う。また、取組結果の情報発信を行う。
  - 想定される目標：仁淀川についての授業を実施した学校数及び学んだ児童生徒数
  - ・水質マップ：仁淀川流域で実施している水質調査結果を収集して地図化し、実施者や学校に提供を行うとともに情報発信を行う。
  - 想定される目標：仕組みの確立、水質調査参加団体数

## テーマ：水文化を継承する

- 1 流域の水文化に親しむ機会の拡大
  - ・「仁淀川学習」プログラム開発（再掲）
  - ・調べ学習ハンドブック（再掲）

## テーマ：美しい景観を保全する

- 1 「仁淀川一斉清掃の日」の啓発・仕組みづくり
  - ・清掃活動 +α：ゴミ拾いに楽しさや学びをプラスすることによって参加を促すとともに、仁淀川の環境保全への関心を高める。
  - 想定される目標：参加者数、環境への関心が高まった割合（参加者アンケート調査により把握）
  - ・ゴミマップ：仁淀川流域で回収されたゴミの種類や量を地図化し、上流から下流への変化や本川と支川の違いを可視化する。また、回収されたゴミの情報を収集するための仕組みづくりを実施する。
  - 想定される目標：仕組みの確立、参加団体数
  
- 4 上下流の連続
  - ・水質マップ（再掲）
  - ・ゴミマップ（再掲）

平成27年度

# 山形県の河川水質マップ

## 水生生物でみた



最上町立大堀小学校 最上白川にて

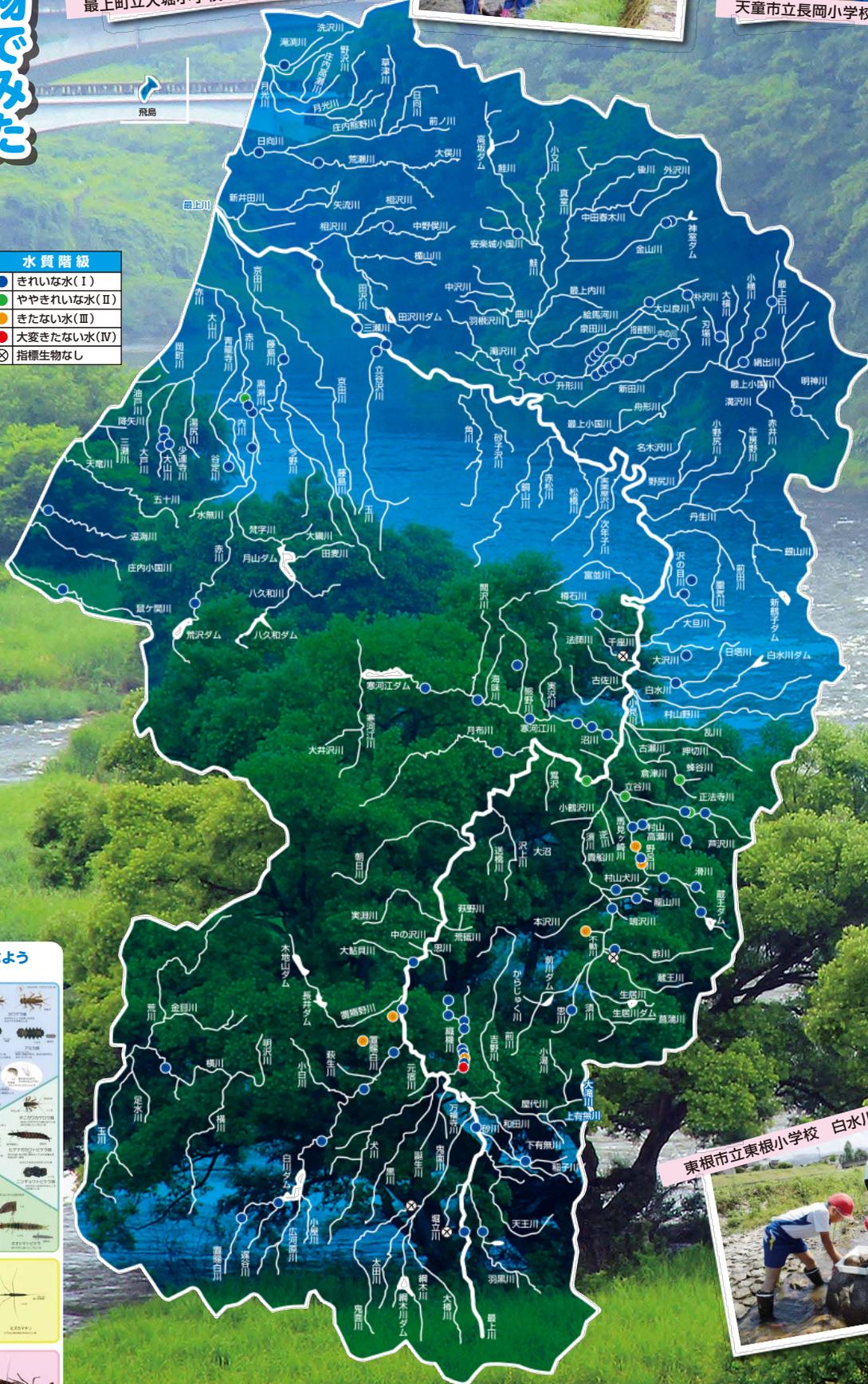


村山市立戸沢小学校 樽石川にて



天童市立長岡小学校 立谷川にて

水質階級	
●	きれいな水(I)
●	ややきれいな水(II)
●	きたない水(III)
●	大変きたない水(IV)
⊗	指標生物なし



### 参加団体

- 山形市立真田中学校科学部
- 山形県立山形東高等学校科学部
- 此方学区子ども会育成連合会野外研修部
- 村山市立権崎小学校
- 金山町立有屋小学校
- 最上町立赤松小学校
- 最上町立赤松小学校
- 上郷地区子ども会
- 鶴岡市立立山小学校
- 山形県立鶴岡高等学校科学部
- 山形県立鶴岡工業高等学校環境科学科
- 鶴岡市立立山小学校
- 鶴岡市立立山小学校3年A組
- 鶴岡市立立山小学校
- 山形市立山寺小学校
- 東川町立三好小学校
- 最上町立大堀小学校
- 戸沢市立戸沢中学校
- おひた川をきれいにする会
- 鶴岡市立立山小学校
- 水辺のひろば子広場
- 日本大学山形高等学校生物部
- 山形県立内陸総合高等学校
- 山形市立立山中学校科学・パソコン部
- 鶴岡アタゴの会
- 形利川に親しむ会
- 形利川に親しむ会
- (社) 築山青年まちづくり委員会(形利川4年生)
- (社) 築山青年まちづくり委員会(形利川4年生)
- 築山の自然を守る会
- 谷地地域保全会
- 山形県立新庄北高等学校科学部
- 鶴岡元沢つ子
- 東根市立東根小学校
- ふしよ小学校
- 白川ダムビジョン推進会議
- 鶴岡市立第一小学校
- 鶴岡市立第二小学校
- 鶴岡市立立山小学校
- 村山市立戸沢小学校
- 東川市立立山南中学校科学部
- 山形県立立山南高等学校
- 新庄市立立山小学校
- 特定非営利活動法人環境ネットやまがた
- 及び山形工業高インターシップ
- 平野地区環境保全会
- 石黒寛史
- 山形市立西郷第一小学校PTA
- 山形県立米沢南高等学校コアSSクラブ
- 谷津建設株式会社
- 西川町立西川小学校
- 東川市立立山小学校及び白岩小学校
- 次江町教育委員会
- 環境科学センター
- 「科学を愛する山形県科学部体験学習」(参加者)
- 村山市教育委員会
- 「GO!GO!むらやま夢体験塾」(21歳以下)
- 佐藤謙三(鶴岡)
- 特定非営利活動法人「まちづくりNPOセンター
- 山形県立内陸総合高等学校環境科学科
- 天童市立長岡小学校
- 鶴岡市立立山小学校
- 鶴岡市立立山南中学校
- 国士文庫省山形県立山形県立山形県立
- 国士文庫省山形県立山形県立山形県立
- 及びインターシップ参加者
- 山形県環境科学センター

### 川の生きものを調べよう

水生生物による水質判定

このマップは、環境省及び国土交通省が主催する「全国水生生物調査」に参加いただいた県民の方々のご協力のもとに作成したものです。水生生物調査は、川にすむ生き物を観察することで、川の水質や環境の大切さを学習するものです。平成27年度水生生物調査は、66団体、延べ1,946人が参加し、県内55河川の108地点で行われました。

作成：山形県環境科学研究センター 〒995-0024 村山市榎岡笹田三丁目2-1 TEL.0237-52-3124

リサイクル適正(△)  
この図物は、印刷用紙の  
リサイクル品です。



東根市立東根小学校 白水仙にて

このごみマップは、平成25年度に赤川、平成26年度に最上川で行った漂着・散乱ごみ調査結果をまとめたものです。県民の皆さまに身近な川のごみの様子を知っていただき、美しい山形の川と海を取り戻せることを願っています。

調査範囲…最上川では米沢市の松川から河口部まで約220km、赤川では支流の梵字川から河口まで約45kmを調査しました。

調査方法…「水辺の散乱(漂着)ゴミの指標評価手法」(※1)を参考に最上川では57地点、赤川では28地点でランクを判定しました。そのうち、回収可能な地点(各19ヶ所)については品目別に個数を数え、ごみの構成割合を調べました。

※1「水辺の散乱(漂着)ゴミ指標評価手法」…水辺の散乱(漂着)ごみの状況(量)を調べる方法の一つ。調査地点で写真を撮り、基準となる写真と比較するか、実際にごみを回収することによりごみの量を把握し、ランクを判定します。

参考4

ランク	河岸10m当たりのごみの量
0	0袋(0L)
1	約1/16袋(1.25L)
2	約1/8袋(2.5L)
3	約1/4袋(5L)
4	約1/2袋(10L)
5	約1袋(20L)
6	約2袋(40L)
7	約4袋(80L)
8	約8袋(160L)
9	約16袋(320L)
10	約32袋(640L)
	約64袋(1280L)
	約128袋(2560L)

ランクは家庭用のごみ袋(20L)を基準にしています。ランク7以下は該当箇所がないため、略記としました。



日本海



身近な、川とごみのこと  
考えてみよう!



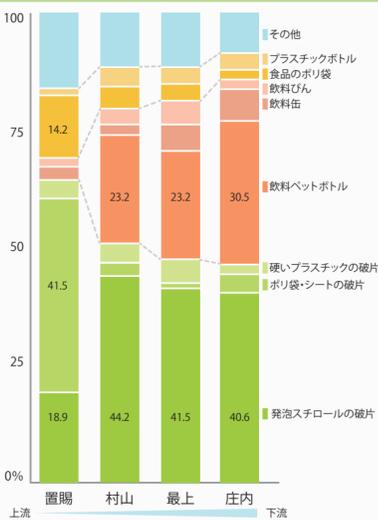
回収されずに海へ流れ出したプラスチック製品は、長い時間をかけて破片化していき、回収がとても難しくなります。プラスチックも発泡スチロールも破片化する前に回収することが重要です。

### 漂着・散乱ごみワースト10

【赤川】		【最上川】	
品目	個数	品目	個数
1 発泡スチロールの破片	3 2 6	1 発泡スチロールの破片	1 2 2 4
2 飲料ペットボトル	1 6 1	2 飲料ペットボトル	7 9 0
3 飲料缶	1 5 5	3 飲料缶	1 6 0
4 ポリ袋・シートの破片	8 2	4 ポリ袋・シートの破片	1 3 0
5 硬いプラスチックの破片	7 4	5 プラスチックボトル(洗剤用など)	1 1 2
6 飲料びん	6 3	6 食品のポリ袋	1 0 3
7 食品のポリ袋	6 3	7 硬いプラスチックの破片	9 7
8 食品のスチロール容器	5 5	8 飲料びん	9 2
9 買い物レジ袋	4 8	9 食品のプラスチック容器	4 8
10 食品のプラスチック容器	3 9	10 スプレー缶・カセットボンベ	4 7

最上川・赤川ともに、1~4位は同じ品目です。飲料用のペットボトル、缶、びんと飲み物に関する3品目がランクインしています。地域ごとの構成割合を見ると、飲み物に関するごみの割合が下流に行くほど増えていくことがわかります。発泡スチロールの破片は村山地域で約40%を占めており、すでに破片化が始まっています。このことから、発泡スチロール製品は捨てられてから短期間で破片化することがわかります。

### 【最上川】4地域ごとのごみ構成割合



### 最上川・赤川から、ごみを無くすには?

最上川、赤川ともに、飲食関連のごみが上位にランクインしていました。私たちの生活で使われていた物が、川を汚し、海に流れていくことがわかります。また、ごみが溜まりやすい地形や、川岸の様子がわかってきました。

- ▷ごみが流れ着きやすいところ
  - 石堤・消波ブロック・立木があるところ
  - 川が大きく曲がっているところ
  - 川と川が合流するところ
- ▷ごみがポイ捨てされたり、放置されたりしやすいところ
  - 河川敷に下りる道路があるところ
  - 河川敷が利用されているところ(河川公園や畑など)

ポイ捨てしない、捨てさせない、ごみを放置しない地域をつくり、ごみのたまりやすい場所を把握し、重点的に清掃することで、川を流れるごみが減り、ひいては海のごみを減らすことにつながります。

また、マイバッグやマイボトルを持ち歩くなど、3R(※2)の取り組みを徹底することで、社会全体で発生するごみの量を減らしていくことも大切です。

※2 3R…リデュース(ごみを減らす)、リユース(繰り返し使う)、リサイクル(分別して再資源化)



### 【最上川】GPSフロート調査



GPSフロートを用いて、増水時にごみがどのように運ばれていくのかを調査しました。

①7月9日 台風8号接近時に投下  
河口部からおよそ130kmの地点、此の木橋(寒河江市)、およそ120kmの地点、支流須川の落合橋(天童市)から投下。豪雨災害をもたらした台風8号の出水で、投下した4個中3個は海へ流れ出ました。早いものでは25時間で河口部までたどり着いています。海に出たうちの1個は投下から1週間もかからず秋田県の男鹿半島へと流れていきました。

②10月6日 台風18号接近時に投下  
支流須川の落合橋(天童市)から投下。新庄市・大蔵村付近に漂着したのち、同月14日に接近した台風19号の出水で再流出。漂着と流出を繰り返しながら川を下る様子が観測されました。